

憲法しんぶん 速報版
 発行 憲法改憲阻止各界連絡会議 (憲法会議)

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
 ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2019年11月21日(木)

NO. 1015号

本号3頁

本日、衆院憲法審査会は開催されません!
そして、与党は国民投票法改正案の今国会での成立見送りに!

18日、首相官邸前緊急行動
安倍首相による政治の私物化許さない! 安倍政権は退陣せよ!

総がかり行動実行委員会は11月18日夜、「安倍首相による政治の私物化を許さない安倍政権の退陣を要求する官邸前緊急行動」を行いました。

「桜を見る会」で改めて明らかになった、安倍首相の政治の私物化、税金の私物化は許せません。そして、前夜祭の領収書がないと言い出すなど、国民を馬鹿にしています。桜を見る会の唐突な来年度中止決定は、官邸の危機感の裏返しです。桜を見る会問題で、安倍政権を退陣に追い込み、「桜散る解散」を実現させようと、緊急行動が行われました。「公職選挙法違反ではないか」「安倍首相はウソをつくな」と、600人の市民が集まりました。

駆けつけた立憲民主党・杉尾秀哉参議院議員、日本共産党・田村智子参議院議員、無所属・柚木道義衆議院議員が、厳しく安倍首相の政治・税金の私物化を批判しました。田村さんがマイクを握ると、参加者から「ありがとう」の声がかかりました。田村さんは、「金曜日に取り上げたが、土・日には全くマスコミは報道しなかった。しかし、翌週には野党が大きな問題と声をあげ、マスコミも連日報道するようになった。徹底して追求し、安倍政権退陣に追い込みたい」と決意を語りました。



戦争をさせない1000人委員会・藤本泰成さんが主催者あいさつ。桜を見る会について「モリカケ問題と根っこは一緒。税金の私物化は許さない。前夜祭の領収書や見積りを明らかにする必要がある。あのような説明で終わりにしてはいけない」と強調し「安倍退陣にむけ、市民の声をつむぎ、つないで大きな力をつくりだそう」と呼びかけました。

参加者から3人が発言。精神科医の香山リカさんは「台風の被害に遭われ、生活困難、心の不安を抱えている方がいる中で、税金を食い物にする、安倍首相のお友達だけがいい目を見ているということがあっていいのか。『市民をバカにするな、なめるな』と言いたい。努力したことが報われる社会にしよう」と呼びかけました。

市民運動をしている大木晴子さんは、「9条改憲反対などで、新宿でのスタンディング、山手線に乗ってプラカードで意思表示を行っている。地元でみなさんも声をあげよう」と呼びかけました」と話しました。

憲法共同センター・長尾ゆりさんは、元教員との立場から「子どもたちにウソをついてはいけない」と話してきた。安倍首相は大きなウソをついている。憲法26条にある教育の機会均等を守らなければならない 萩生田文科大臣の『身の丈発言』は許せない。憲法違反の大臣は辞めていただきたい。内閣丸ごとモラルハザードの内閣は総辞職してもらおう」と訴えました。

憲法共同センターとして憲法会議の高橋が行動提起を行いました。「桜を見る会の問題などで予算

委員会を開き、徹底審議を行うよう FAX での要請に取り組もう。今週が大きなヤマ場となる。憲法審査会を開かせず、国民投票法を通させないよう、野党への激励 FAX に取り組もう。3000 万人署名で 対話を広げよう」と呼びかけ、① 12/3 のウィメンズ宣伝、②12/6 コスタリカのロベルト・サモラ弁護士の講演会、③12/ 12 の総がかり署名・宣伝、④ 11、12 月の「19 日行動」の成功を提起しました。

これはもうアウト! 安倍首相の推薦が約1千人、麻生太郎副総理や菅官房長官、官房副長官の推薦が1千人、自民党関係者の推薦が6千人 税金で!

菅義偉官房長官は 20 日の衆院内閣委員会で、参加者約 1 万 5 千人の招待者の内訳は、各省庁推薦の功労者や各国大使、国会議員、勲章受章者などは合計約 6 千人程度。残りの約 9 千人は、安倍首相の推薦が約 1 千人、麻生太郎副総理や菅官房長官、官房副長官の推薦が 1 千人、自民党関係者の推薦が 6 千人などと報告しました。菅氏は「長年の積み重ねの中でだんだんと人数が多くなってきた。反省し、全面的な見直しを行っていく」と語りました。また、大西証史内閣審議官は「安倍事務所において幅広く参加希望者を募るプロセスの中で、夫人からの推薦もあった」と明らかにしました。自身の推薦に関する関与も認めた安倍首相は、もうアウトです。

「政治の私物化許さない!」「安倍首相は辞めろ!」 総がかり行動実行委など国会議員会館前で 19 日行動

「桜を見る会」疑惑の究明、安倍改憲阻止などを掲げて、総がかり行動実行委員会と安倍 9 条改憲 NO! 全国市民アクションは 19 日、「安倍首相による政治の私物化を許さない!安倍改憲発議反対! 辺野古新基地建設やめろ! 自衛隊の中東派兵反対! 北東アジアに平和と友好! 11・19 国会議員前行動」を開催し、2600 人が参加しました。

あいさつした総がかり行動実行委員会共同代表の高田健さんは、「桜を見る会」疑惑にふれ、「安倍首相はもう辞めるしかない」と批判。改憲に固執する安倍首相に対し、署名運動を力に改憲発議を必ず阻止しようと訴えました。



駆けつけた日本共産党の山下芳生副委員長、立憲民主党の打越さく良参院議員、国民民主党の日吉雄太衆院議員、社民党の福島瑞穂参院議員、「沖縄の風」の高良鉄美参院議員があいさつ。山下氏は「桜を見る会」疑惑にふれ、「安倍首相は国会で野党の質問に答えるべきだ」と強調。安倍政権が憲法、民主主義、地方自治、暮らしを壊してきたと述べ、「市民と野党がスクラムを組み、安倍政権を倒し、新しい政治をつくろう」と呼びかけました。また、先の参議院選挙で野党統一候補として当選した打越さく良議員は、中学生のころ憲法の条文を暗記するほど憲法が好きだったことを紹介し、「改憲を阻止し、憲法を守ろう」と訴えました。

さらに、市民が発言。民間英語試験利用と記述式問題導入に反対してたたかっている田中真実さん、ジャーナリストの志葉玲さん、東海大学教授で憲法学者の永山茂樹さん、止めよう! 辺野古埋め立て国会包囲実行委員会の木村勝彦さん、そして自由学園の高校生 3 人組がマイクを持ち、それぞれの立場から安倍政権の危険性を語り、憲法を守り、生かそうと呼びかけました。とりわけ、高校生 3 人の「若者に将来のことを考えるように訴えて行きたい」との発言に、参加者から大きな拍手が起こりました。



「全国首長九条の会」の結成のついで開催

私たち首長九条の会は、憲法9条の理念を高く掲げ、 これを堅持し実践することをめざす!

自治体の現職首長と元首長による「全国首長九条の会」の結成のつどいが17日、明治大学リバティタワーで開催されました。賛同・呼びかけ人に17日現在で現職13人を含む131人が参加しています。全国の首長が所属や立場、信条の違いを超えて「9条守れ」の一点で力を合わせる画期的な動きです。安倍晋三首相と日本会議が改憲に執念を燃やすなか、全国首長9条の会は草の根の運動と連携し、「憲法9条擁護」の運動、世論づくりをすすめるとしています。結成総会では共同代表などの役員を選出し、規約と活動方針、アピールを採択しました。

司会を前狛江市長の矢野裕氏が務めました。開会あいさつを、東北6県市町村長九条の会連合・共同代表の川井貞一氏（元宮城県白石市長）が行い、全国首長九条の会の発足経緯などを紹介。「市民の安全・安心を守るのが市長の使命というのが私の政治哲学。しかし、憲法改悪の動きが出てきた。戦争になれば、市民の安全・安心など吹っ飛んでしまう」とし、「草の根運動を展開しながら、改憲を絶対に阻止し、9条を守り抜かねばならない。今日がその出発点だ」と力強く訴えました。

第一部では、「九条の会」世話人の浅倉むつ子氏（早稲田大学名誉教授）が「首長九条の会」結成への「期待」を述べ、「憲法9条は私たちにとってまさに“灯台の灯”。いま、戦争という危機を迎えようとしている世界中の人々にとって憲法9条こそ、未来を照らす“灯台の灯”だと信じている」とあいさつ。その後、明治大学教職員9条の会の中川雄一郎世話人代表が歓迎のあいさつを行いました。



そして、6人の首長・元首長が「私と憲法」をテーマに発言し、9条への熱い思いと、改憲発議阻止への決意を語り、会場と熱気を交換しました。元横手市長の千田謙蔵氏は、ご自身の東大でのポポロ事件の20年のたたかいを語り、「憲法は切って切れない存在」と語り、「戦争を知らない国会議員もおおり、心配だ。今、年寄りが頑張らねばならない」等と語りました。

つどいには、玉城デニー沖縄県知事、武村正義元滋賀県知事、嘉田由紀子参院議員・元滋賀県知事らがメッセージを寄せられました。結成総会で採択されたアピールで「9条改憲が草の根での攻防に入ったいま、私たち首長九条の会は、全国7000を超える地域、分野の九条の会と歩みを共にし、憲法9条の理念を高く掲げ、これを堅持し実践することをめざして、地域住民の知恵と力に依拠して運動を進めたい」と呼びかけました。

つどいには、現職首長、元首長、そして市民の方、合わせて250人が参加しました。

■首長九条の会の役員

【共同代表】川井貞一・元宮城県白石市長、小池清彦・前新潟県加茂市長、松下玲子・東京都武蔵野市長、岡庭一雄・元長野県阿智村長、武村正義・元滋賀県知事、井原勝介・元山口県岩国市長、田中全・元高知県四万十市長、稲嶺進・前沖縄県名護市長

【事務局長】鹿野文永・元宮城県鹿島台町長

【事務局次長】上原公子・元東京都国立市長、矢野裕・元東京都狛江市長

岸田派勉強会で古賀名誉会長が講演 憲法9条改正に反対

自民党岸田派（宏池会、47人）は13日、憲法改正に関する若手勉強会を開きました。古賀誠名誉会長が講師を務め、憲法9条改正に反対する一方、党として改憲議論を進めるべきだとの考えを示しました。

勉強会には衆院当選3回以下、参院当選2回以下の若手17人と党憲法改正推進本部の根本匠事務総長ら幹部が出席しました。

古賀氏は「9条改正ありきはおかしい。理想論といわれるが、政治家こそ理念を語り、実現に向けて取り組んでいくべきだ」と述べ、9条への自衛隊明記に反対しました。改憲自体については派として「大いに議論してほしい」と話しました。

派閥会長の岸田文雄政調会長は自衛隊明記などの党改憲案について「平和主義の原則は変わらない」との立場で、憲法について意見交換する地方政調会を開くなど、憲法改正で党の推進役を担っています。